

いまを支え、未来へとつなぐ。

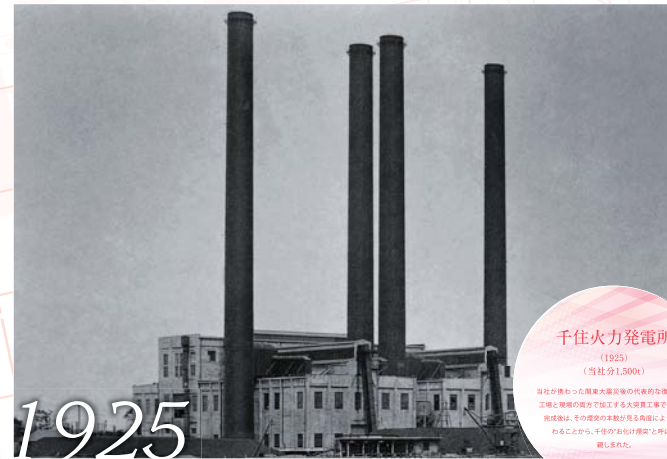
100TH



株式会社 東京鐵骨橋梁

いまを支え、未来へとつなぐ。

100TH



千住火力発電所
(1925)
(当社分1,500)

当社の前身である関東大震災後の代表的な復興工事、工場と建物の両方で施工する大規模工事であった。復興事業は、その建築の本数が見る角度によって変わることから、半世紀の間に建設と解体が繰り返された。



東急文化会館
(1956)地上8階建
(当社分1,255)

「戦後の復興とキャパシティー」をテーマに建設された日本最大級の劇場、プロセシオの新しいチームが建築手法で挑戦する高さ11mを越えていた。その文化財的価値が認められ指定された。半世紀の間に建設と解体が繰り返された。



歌舞伎座劇場復旧
(1950)4代目
(当社分430)

戦後20年の空襲で大部分が焼失した歌舞伎座を、その建築や装飾の一部を利用して復旧した。当時の建築技術により復旧的価値は計り知れない。時代であったが、特別指定によりその歴史的デザインが復旧した。



旧東京都庁舎
(1957)8階建
(当社分466)

戦後復興の象徴として再建された。当時の中心として再建された。当時の中心として再建された。当時の中心として再建された。

いまを支え、未来へとつなぐ。

100TH



白木屋本店
(1957)7階建
(当社分1,436)

江戸時代の立木高層建築の一つ白木屋が前身。かつては日本を代表するデパートとして一世を風靡した。その「東京百貨店日本橋店」と改称したが1999年に閉店。その跡地には大きく変わったデザイン・空間のコンセプト日本橋店が生まれ



浅草寺五重塔塔院
(1973)地上高9.53m
(総高120)

東京都内最大の寺。4層目までが浅草橋塔で、塔はほりべつと塔身、塔輪郭は塔がらみの間に作られた。塔身と塔輪郭を塔身で施工。東京大震災により消失した。戦後の塔院に建てられた。その後1973年に浅草寺新塔院として建てられた。



霞が関ビルディング
(1968)36階建
(当社分1,410)

戦後の東京を代表する高層ビルディング。地上高140m。それまでにはない高層ビルディング。いっしょに「高層ビル」を築いたことで「高層ビルディングの発祥地」となった。日本で100mの高さを越えたビルディング。



株式会社 東京鐵骨橋梁

いまを支え、未来へつなぐ。



1971

京王プラザホテル
(1971)地上47階建
(総面積9,000㎡、当社分920㎡)
新橋駅南口の中央に建つ高さ170mの超高層ビル。
設備等全層の両側面により生まれながら新設超高層
ビル初の両側面開放性、日本初の両側面ガラス
として関東圏の建築界への先導
を果たした。



1978

サンシャイン60
(1978)地上60階建
(当社分5,278㎡)
新橋駅南口駅前ビル跡地の両側面超高層として計画
された。当時は国内最大の超高層オフィスビルで
併せて東洋一の高さを誇った。地上高140mは、
東洋一の高さを誇る。12年経
過した。



株式会社 東京鐵骨橋梁

いまを支え、未来へとつなぐ。

100TH



1990

東京都第1本庁舎
(1990) 地上48階建
(専任者5,730名)
丹下健三の設計で築いた東京庁舎のシンボルタワー。12年
間日本一を誇って来た高層ビル。2008年竣工して
日本一の高層ビルとなった。この時代より
建築設計に建築がからみ、同時に建築される
建物の価値が高くなっていった。



1993

横浜
ランドマークタワー
(1993) 地上70階建(専任者2,330名)
東京第一本庁舎を築いた丹下健三氏が日本一
の高層ビルに、横浜市民会館とともに建築する
建築のシンボル塔を建設。本庁舎にオープン
した高さ296mのビルは、日本一
の高層ビルとなった。



株式会社 東京鐵骨橋梁

いまを支え、未来へつなぐ。

100TH



2003

六本木ビルズ
森タワー
(2003)地上54階建(当社分2,412)

最高高さ238mの複合施設「六本木ビルズ」の中核を担う超高層ビル。地上高270mで、オープンエアの観望台として日本一を誇る。



2013

GINZA KABUKIZA
(歌舞伎座、歌舞伎座タワー)
(2013)地上29階建(当社分7,500)

築100年を数える老舗は、2013年4月23日にオープン。GINZA KABUKIZAは、「歌舞伎座」が入る和風ビル。複合施設として、大規模な複合施設と、超層オフィスビル「歌舞伎座タワー」(高さ145m)を併設する。



株式会社 東京鐵骨橋梁